

経営比較分析表（令和6年度決算）

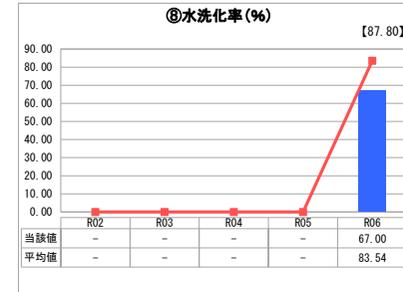
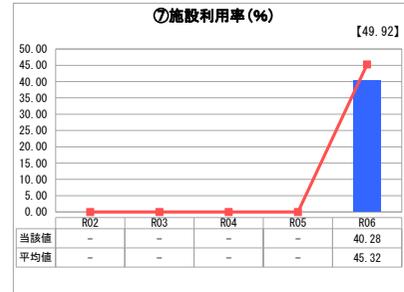
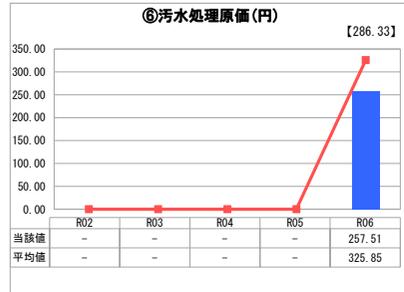
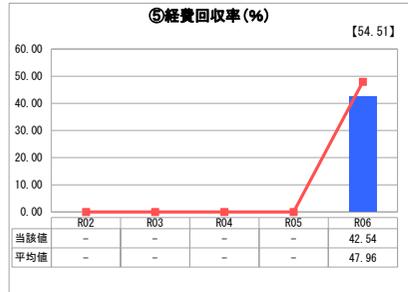
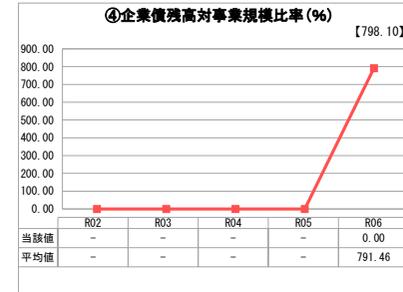
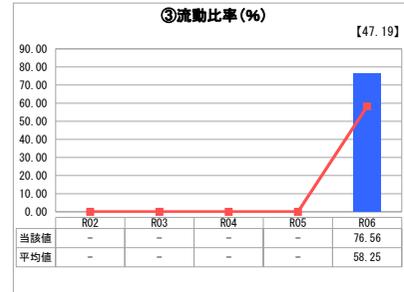
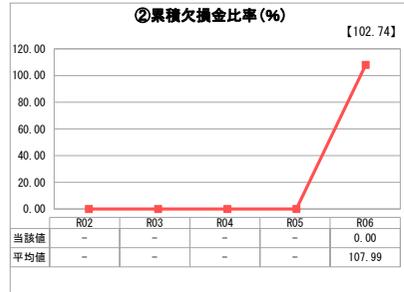
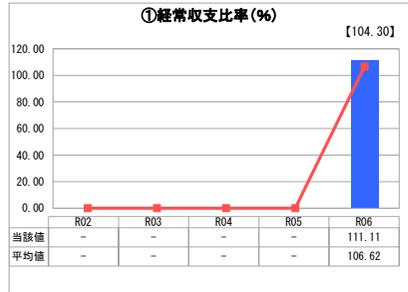
高知県 三原村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	79.45	51.49	100.00	2,090

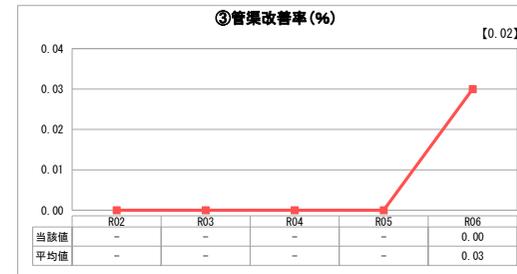
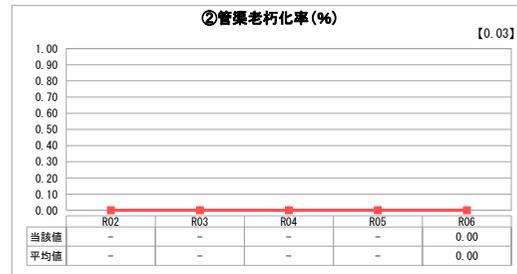
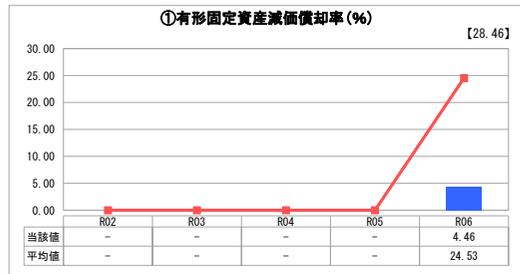
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
1,355	85.37	15.87
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
691	0.63	1,096.83

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は100%を下回っており、現状では汚水処理にかかる経費は使用料収入だけでは賅えておらず、一般会計繰入金で賅っている状態である。また、施設利用率、水洗化率共に平均を下回っており、農業集落排水の加入率が低いことが分かる。今後とも加入促進に取り組んで行き、更なる経営の効率上昇に向け、日頃の保守・点検を強化し大口のメンテナンスを最小限に抑えていく。

2. 老朽化の状況について

平成27年度に策定した農業集落排水事業機能強化対策計画概要書に基づき、汚水処理施設の主要部品の更新、機器更新等の機能強化対策の工事を平成29年度～令和元年度の3ヶ年にかけて実施した。農業集落排水事業が開始してから30年が経過しており施設の老朽化が進行している。このため中央クリーンセンター内の機械設備及び各中継ポンプ場の水位計及びポンプに故障が頻繁に発生しており、年間維持修繕費が増加している。

全体総括

高齢化による人口減少が進んでおり、需要の減少がすすんでいる。移住者等呼び込み人口減少を抑えていく必要がある。施設の老朽化に伴い機器の更新需要が増加しており、引き続き委託業者と連携をほかり施設の強化（管路の更新、ポンプの修繕、不明水対策等）を行う。

農業集落排水事業に携わっている職員は1名しかおらず、他の業務も携わっている。役場全体の職員数も限りがあることから人材の確保は非常に困難な状況といえる。

近年の物価高騰などによる営業費用の増加が見込まれるので、経費回収率の上昇、施設利用率、水洗化率の上昇に向け、今後とも、農業集落排水施設への加入を促進していき、更なる経営向上を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。